

# 紹介

## YY\_tennis チーム



YY四天王(失点王)



初めて出場『わいわいバトル』



青春のYY复合宿!



今年も楽しめました! わいわいバトル



私達YYチームは、岡崎市中心総合公園で毎週土日に活動しています。YYチームの始まりは、リーダー杉本が不純な動機でテニスを初め、仲間内でテニスをしていましたが、その内スクールで仲良くなった仲間も入り、試合にも出るようになって、TTAにチーム登録しました。また、ショップ等の大会にも出ていて、TTAの運営の素晴らしさや、いろんなレベルの方が楽しめる大会が多い事を広め、知り合いのサークルの方にも仲間に入れてもらっています。メンバーの中には、TTAの大会で対戦した方(フリー)もいます。テニスは相手がいないと出来ないスポーツだと思います。10人いれば10種類以上の返球があります。テニスを通じて出会った仲間は大切にしたいと思います。年中行事は、夏合宿・忘年会&テニス大会・スキーツアー…など開催しています。随時メンバー募集しています。リーダーは体育会系を目指していますが、チーム名の通り…みんな騒がしいくらいワイワイしています(^\_^) 杉本:



こんな顔でもD級3位入賞!



女子D級準優勝



豊田市民選手権大会



YY忘年会&テニス大会

# ルールQ&A

**Q:** ノード方式の試合に参加した時のことですが、試合中に両方のプレーヤーが3ポイントずつ取った際に「フォーティー、オール」とコールするのを良く聞きますが、これは正しいのでしょうか?

**A:** まだ記憶に新しい11月にスカイホール豊田で開催されたダンロップ・ワールド・チャレンジ大会でも、ダブルスの試合はノード方式で行われました。その際、両方のプレーヤーが3ポイントずつ取った後、主審が何とアナウンスしたか聞いた方もあると思いますが、「デュース、ディサイディング・ポイント、レシーバーズ・チョイス」とアナウンスとしていました。すなわちノード方式の試合でも両方が3ポイントずつ取った場合は、通常のゲームと同様に「デュース」が正しいコールとなり、「フォーティー、オール」という表現はありません。「デュース」の後、レシーバーは右コートか左コートでレシーブをするかを決め、このディサイディング・ポイントを取った方が、そのゲームの勝者となります。

